

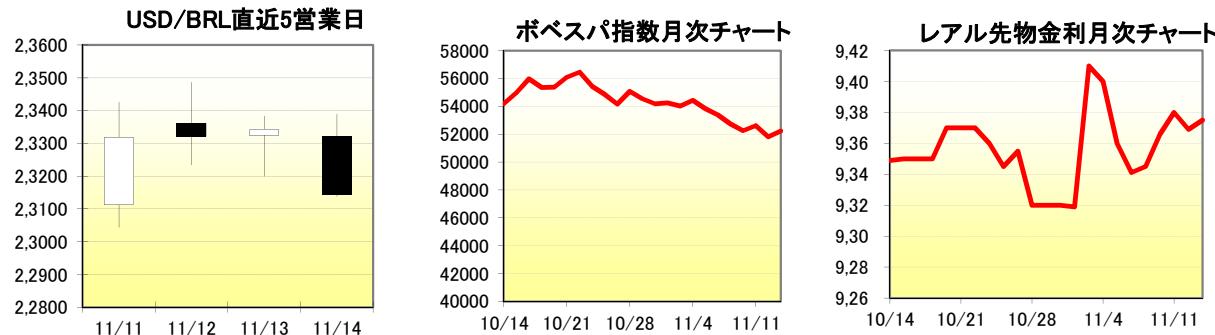
Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

			11月8日	11月11日	11月12日	11月13日	11月14日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,3130	2,3340	2,3360	2,3340	2,3210	-0,0130
	USD/YEN	Spot	99,15	99,17	99,68	99,37	99,99	+0,6200
Swap	EUR/USD	Spot	1,3363	1,3408	1,3429	1,3463	1,3463	u,c,
	BRL/YEN	Spot	42,87	42,53	42,74	42,57	43,21	+0,6400
Stock	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,38	1,34	1,27	1,30	1,37	+0,0694
		1Year(p.a.)	1,72	1,72	1,68	1,72	1,76	+0,0484
Bond	Real Interest	6MTH(p.a.)	10,32	10,32	10,27	10,27	10,27	-0,0028
		1Year(p.a.)	10,84	10,88	10,83	10,74	10,69	-0,0491
Stock	Bovespa		52.249	52.624	51.804	52.230	53.452	+1.221,31
Bond	CDS Brazil 5y		190,50	200,82	204,30	207,25	205,92	-1,3250
	Global 40		115,900	117,200	115,750	116,250	115,500	-0,7500

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィcerまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	なし
FGVインフレ率IGP-10(前月比)	0.45%	0.44%	1.11%	
経済活動(前月比)	0.19%	-0.01%	0.09%	
経済活動(前年比)	3.60%	3.33%	1.32%	

4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は U\$1=R\$2.3110 で寄り付いた。
- 週初は米国市場が祝日で休場のためレアル相場の流動性は極めて低い展開となった。伯中銀が今月末満期のドル売りスワップのロールを開始するとの通知を受けてレアルは寄付き後買いが見られ、週間高値となる U\$1=R\$2.3040 を付けた。しかし直後に反落、一気に 2.34 台まで売り込まれた。
- 翌 12 日には ECB 政策委員会メンバー、オーストリア中銀のノボトニー総裁がデフレリスクに留意すべきだとコメントしたことが嫌気され、欧州株式は下落した。レアルもつられて売りが優勢となり、直ぐさま週間安値となる U\$1=R\$2.3490 を付けたが、伯中銀によるドル売り介入のほか大口の資金流入の噂が聞かれるたレアルは一気に 2.32 台後半まで反発した。
- 週央にかけては米上院銀行委員会でのイエレン氏による公聴会を控えて市場ではよりハト派的な内容となるとの見方が強く、ドルは対主要通貨で下落、レアルも 2.3200 まで買われた。
- 週末にかけては米上院銀行委員会で開かれた指名承認公聴会で次期議長に指名されたイエレン氏は力強い景気回復の達成に向け全力で取り組む決意を表明したほか、金融面での刺激策を近く引き揚げることはない約束したことが好感され、ドルは対主要通貨で下落した。レアルはつられて 2.31 台後半まで回復し、結局 U\$1=R\$2.3210 で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成されたものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
11/18	FGV CPI IPC-S	nov/17	0.60%	0.63%
11/18	貿易収支(週次)	nov/17	--	\$916M
11/18	税収	Oct	98477M	84212M
11/18	登録雇用創出合計	Oct	97800	211068
11/19	FIPE CPI-週次	nov/15	--	0.55%
11/19	IGP-M Inflation 2nd Preview	Nov	--	0.91%
11/19	IBGEインフレ率IPCA-15(前月比)	Nov	0.64%	0.48%
11/19	IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	Nov	5.86%	5.75%
11/19	CNI産業信頼感	Nov	--	53.8
11/21	失業率	Oct	5.4%	5.4%

6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.25-2.35

今週はレアル安が進む中、伯中銀はドル売りスワップのロールを通常より早めに通知する等のレアル安対策を講じたことから市場ではレアル安が更に進むことがあれば伯中銀は必要に応じて介入度合いを調節するとの見方が強まっている。更に今週末に開かれた米上院銀行委員会の指名承認公聴会でイエレン米 FRB 時期議長の証言が注目され、景気回復支援を強調する内容となつたことから米資産購入が継続するとの見方が強まり、レアルが買い戻される展開となつた。上記を受けて市場では FOMC が来年の 3 月の会合まで資産購入の縮小決定を遅らせると予想しており、足許のレアル相場のボラティリティーはやや低下することが予想され、今後の米経済指標が注目される。来週は米 FOMC 議事録が重要視され、QE3 緩小に関するヒントが出されるかどうかに注目が集まるであろう。尚、15 日と 20 日はブラジルで祝日のため休場となる。